

製品名: ALDH16A1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87728**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW:85 kDa; Observed MW:85 kDa

抗原情報

遺伝子名	ALDH16A1
別名	ALDH16A1
遺伝子 ID	126133, 69748, 361571
SwissProt ID	Q8IZ83, Q571I9, Q3T1L0
免疫原	ヒト ALDH16A1 の合成ペプチド

背景

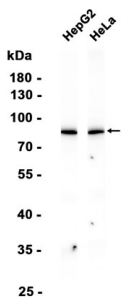
この遺伝子は、アルデヒド脱水素酵素スーパーファミリーのメンバーをコードしています。このファミリーのメンバーはアルデヒド

基質に作用し、ニコチンアミドアデニンジヌクレオチドリン酸 (NADP) を補酵素として利用します。この遺伝子は、チンパンジー、イヌ、ウシ、マウス、ラット、ゼブラフィッシュで保存されています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、マスパジンと相互作用します。マスパジンは、切断されると肥満症候群の原因となるタンパク質です。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2010年4月]

研究分野

-

画像データ



ALDH16A1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HepG2、HeLa 細胞からの抽出物のウェスタンブロット分析。